

基本項目記入数

25

チャレンジ項目記入数

9

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・工事現場から排出される産業廃棄物は中間処理業者等へ排出し manifests 伝票で適切に管理している。 ・有害化学物質に該当する工事の時は、石綿作業主任者を配置し石綿調査を行い法令に基づいた適切な管理、処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社用車に運転日誌を常備し、従業員が車両の使用量・走行距離を把握出来るようにして月末事務所に提出してもらい、そのデータを「炭削くん」ソフトを利用して使用量を把握しCO2排出量を管理している。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートと「炭削くん」ソフトを用いてCO2排出量を把握し、CO2削減に取り組んでいる。 ・使用していない部屋や昼休み時間(休憩中)等の節電に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・社内配布はできるだけ使用済みの封筒を利用している。 ・事務所にマイバックを常備し買い物時使用している。						6.6									14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレス化による裏紙の利用を促進している。 ・コピー時は両面印刷を促進している。 ・事務用品購入時は再生用紙を推進している。									9.4			12.2 12.4 12.5			14.1	15		
	27	【水の管理】 熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水のために、水洗トイレのタンクにペットボトルを入れたり、掃除後のバケツの水を植木や花などの水やりに活用して使用量削減に取り組んでいる。 ・事務所に浄水器を設置使用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生クラッシュカーン・再生密粒度アスコンを購入し、再資源化に取り組んでいる。 ・建設機械入替時は環境にやさしい排ガス規制・低騒音型機械を購入している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・会社敷地内に植栽や花壇・プランター・鉢に緑化を取り入れ、室内にも鉢等で緑化に取り組んでいる。 ・現場事務所周辺においてもプランターや鉢を設置し緑化に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・事務所の照明器具の交換時LEDへ入れ替えてエネルギー使用率の削減に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●														12.2 12.5			14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

